月刊みんぱく 2015 6月号

編集後記

もう四半世紀前になってしまうが、インドを何回か訪れたことがある。町中には赤紫のブーゲンビリアが咲き誇り、黄緑のオウムが飛び交っている。ホテルのロビーでは、きらびやかなサリー姿のご婦人たちが熱帯魚のように行き交う。自然の中の色も、人びとの装いも、また神様も、それまで見たことがない鮮やかさで、すべてが強烈であった。インドの太陽光を展示場で再現することはできないが、新しくなった南アジア展示場は現地の極彩色の世界にぐっと近づいて、楽しくなった。

同じころ旅したネパールが大地震に見舞われた。かつて訪れたバクタプルの寺院が崩れてピラミッドのようになってしまい、風情ある古都の町並みががれきと化した写真に驚愕(きょうがく)。村ごと埋まってしまっていて、犠牲者の数すらまだわからない谷もあるなか、大きな余震でさらに被害が増えている。

みんぱくに拠点がある「現代インド地域研究」のホームページに、ネパール地震関連ポータルサイトが立ち上げられ、現地情報、支援活動、地震解析などのサイトリンクが集積されている（URLは本号13頁参照）。これからの復興支援の検討材料となる情報のチャネルがよく整理されている。とりあえず、募金から始めようと思う。

（山中由里子）

●表紙：新しくなった南アジア展示「躍動する南アジア」セクションより。

次号の予告

特集

異種混淆の世界 東南アジア

みんぱくをもっと楽しみたい人のために――会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます（特別展示は観覧料割引）。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
（電話06−6877−8893／平日9：00～17：00）

月刊みんぱく 2015年6月号
第39巻第6号通巻第453号　2015年6月1日発行

編集・発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話　06-6876-2151

発行人　池谷和信
編集委員　山中由里子（編集長）　河合洋尚　菅瀬晶子　丹羽典生　丸川雄三　南真木人　吉岡乾
デザイン　宮谷一款　長岡綾子
制作・協力　一般財団法人 千里文化財団
印刷　能登印刷株式会社

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内
●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
●阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
●乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ
http://www.minpaku.ac.jp/
みんぱくフェイスブック
http://www.facebook.com/MINPAKU.official/
みんぱくツイッター
http://twitter.com/MINPAKUofficial

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology